はじめてのウェザーニューズ
（創業からのあゆみ）

取締役
志賀 康史

weathernews Always WITH you!

ウェザーニューズの取り組み

ウェザーニューズのモットー

ウェザーニューズの強み

会社概要

設　立　：1986年（昭和61年）6月
代表者　：草開千仁（代表取締役社長）
所在地　：千葉市美浜区中瀬1-3
　　幕張テクノガーデン
販売拠点：20カ国31拠点

運営拠点：6拠点
従業員　：1,012人（2019年5月31日現在）
資本金　：17億600万円
売上高　：170億 5200万円（2019年5月期）

ウェザーニューズの起源

「船乗りの命を守りたい」

いたずら台湾坊主、大荒れ

豪雨・強風・バカ陽気

救い求めつつ波間に

流木に救助船近づけず

空光丸遭難

新幹線私鉄も混乱

1970年1月
福島県小名浜港を
爆弾低気圧が直撃。
入港中の大型貨物船が沈没し、
15名の船員の命が失われた。

ウェザーニューズの理念

weathernews Always WITH you!

“いざ”というとき
人の役に立ちたい

ウェザーニューズの軌跡

weathernews Always WITH you!

全世界76億人の情報交信台

Dream

1970年代
海の気象台としてスタート
海洋気象の専門会社として、船舶の最も安全で経済的な航路を推薦する「ウェザールーティングサービス」を提供。

1980年頃
ピンポイント気象サービスの開始
雨が降ると廃棄してしまうお弁当のロスを無くすため、ピンポイントの天気を仕出し弁当屋に提供。

1983年
放送局向けサービスの開始
朝日放送からの一本の電話から、衛星画像をテレビで放送する、当時としては画期的なサービスを開始し、放送局向けのサービスがスタート。

1985年
空の気象サービスの開始
本田航空向けに安全なフライトをサポートする、航空気象サービスを提供開始。

1986年
株式会社ウェザーニューズ設立

1993年
ウェザーマーケティングサービスの開始
セブン-イレブン・ジャパン向けのウェザーマーケティングサービスを開始。サービスの価値に安全性だけでなく、経済性も加わる。

1999年
サポーター（個人向け）サービスの開始
1999年に開始したNTT DoCoMoのi-modeで、いち早くサービスを提供。個人向け有料サービスを本格的に開始。

2003年
航空気象サービスのグローバル展開
大韓航空向けに航空気象サービスを提供開始。航海気象サービス以外では初となる、サービスのグローバル展開。

2004年
有料サポーター100万人突破

グローバル展開に向け幕張天気街（ウェザーストリート）をオープン

2005年
ウェザーリポーターと“感測”の取り組み開始
サポーターの五感で感じた情報（＝“感”測情報）を気象予測やサービスに活かす取り組みを開始。

2006年
陸の交通気象の本格展開開始
海、空に続き、陸の交通気象である道路気象、鉄道気象サービスを開始。

2008年
WITHレーダーネットワークの展開開始
6秒に1回の高頻度観測が可能な、超小型レーダー「WITHレーダー」のネットワーク展開を開始。

2009年
OSRサービスを開始
安全性、経済性・定時性など、お客様のビジネスプライオリティに応じて運航を最適化する、Optimum Ship Routeingサービスのグローバル展開を開始。

2011年
TSUNAMIレーダーネットワーク網整備
東日本大震災を受け、津波を捉えるレーダーを開発、沿岸部に整備。

2013年
超小型衛星の打ち上げに成功
ウェザーニューズ初の超小型衛星「WNISAT-1」で地磁気の観測を開始。

2014年
保険気象サービス開始
保険加入者のリスク低減をサポートするサービスメニューの提供を開始。

2017年
環境気象の取り組み開始
2017年1月、フランスの気象会社Metnext SAS（現 Weathernews France SAS）を子会社化。環境気象への取り組みを開始。

問題解決・課題解決のための情報サービス

weathernews Always WITH you!

ウェザーニューズ

「あなたの気象台」
「あなたの情報交信台」

対応策情報

＝費用対効果

気象庁

「みんなの気象台」

天気予報

＝注意報・警報

（国民の安心・安全）

44の対応策サービス

weathernews Always WITH you!

Sea Planning

航海気象

石油気象

海上気象

水産気象

物流気象

Sky Planning

航空気象

Broadcast Planning

放送気象

Land Planning

道路気象

鉄道気象

輸送気象

施設気象

防災気象

建設気象

イベント気象

河川気象

通信気象

工場気象

保険気象

動気候

地象

空気気象

Mobile/Internet Planning

モバイル

My Weather Station

山岳気象

トラベル気象

健康気象

植物気象

童理気象

栽培気象

減災

星空気象

写真気象

宇宙天気

Environment Planning

流通気象

農業気象

エネルギー気象

ダム気象

Sports Planning

スポーツ祭典気象

サッカー気象

スポーツ気象

野球気象

モータースポーツ気象

スカイスポーツ気象

ボート気象

スポーツ気象への挑戦

Rio 2016

リオ大会で7競技
18チームを支援

マラソン・競歩
ラグビー
トライアスロン
ホッケー
セーリング等

Pyeong Chang 2018

平昌大会でパラ・クロス
カントリーを支援

金メダル獲得に貢献

Jakarta 2018

アジア大会で
陸上競技を支援

アマチュア向け
MiCATAで提供

Japan 2019

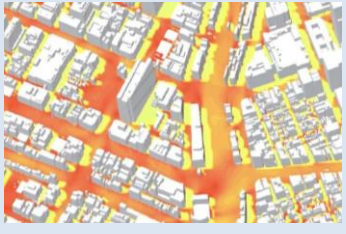
ラグビー国際
大会で支援予定

競技コース上で観測
日陰の位置など把握

Tokyo 2020

東京大会では10競技
以上を支援予定

都市気象予測モデル
マラソンで検証



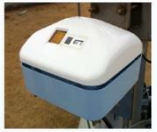
サービスを支える観測・感測 – 解析・情報提供 – 評価改善の流れ

weathernews Always WITH you!

Observation（観測）＋ Eye-Servation（感測）

1 独自観測インフラの情報

- WNI衛星：2機
- WITHレーダー：80基
- WITHセンサー：3,000台
- TSUNAMIレーダー：30基
- ライブカメラ：900台
- 火山監視カメラ：50台
- マイクロネット：10,000箇所
- ポールンロボ：1,000台
- Yure Station：1,000台



2 サポーター感測情報

世界各地のサポーターから届く
空や体感のウェザーリポート
機械では測れない“感測”データを
天気予報に活用しています

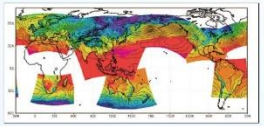
3 全世界の公的機関による観測情報

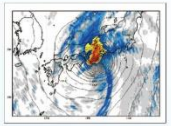
例：気象庁、世界気象機関など

Analysis（分析） ＋ Forecast（予測）

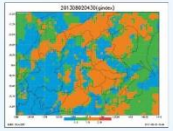
1 世界最大の気象、海象、地 象データベース

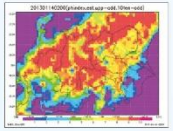
2 独自の予測モデル





3 KN-Expertシステムに よる予報技術者の知見反映





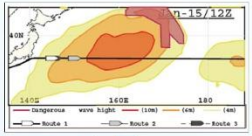
4 24時間365日のモニタ リング

5 気象技術の研究開発と オクラホマ大学との連携

Risk Communication（10Vスケールに基づく対応策情報）

例：航海気象サービスの10Vスケール＝DASH INDEX

DA：Dangerous（ドリフティングやシェルタリングの検討）
S ：Severe（コースとスピード配分の変更の検討）
H ：Heavy（スピードの変更の検討）



最適な航路の推薦

Evaluation（サービスと予測の評価・検証）

1 日々のサービスと予測の定量評価

2 お客様とのService Review & Planning Meeting

ウェザーニュースの取り組み

ウェザーニュースのモットー

ウェザーニュースの強み

ウェザーニューズのビジネスの進め方

weathernews Always WITH you!

How much の前に

“How Wonderful” から始めよう

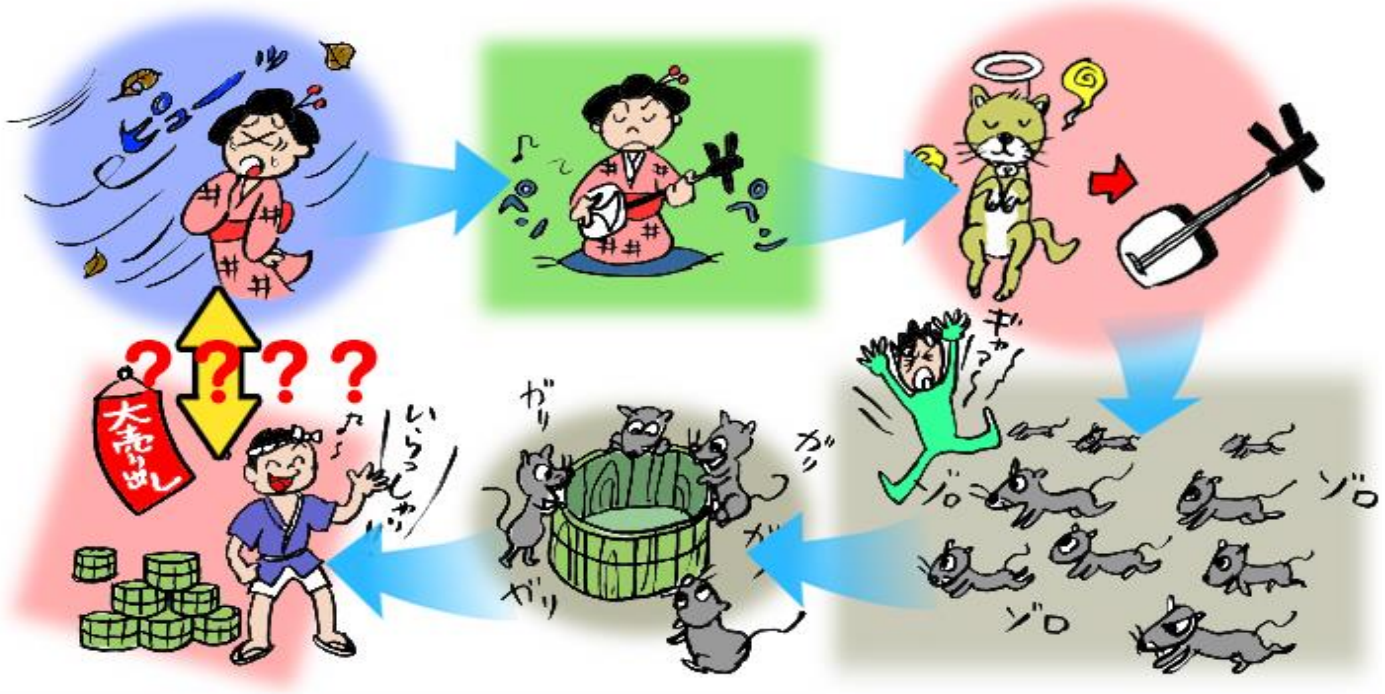
まず、楽しいことをやろう
（常識にとらわれない価値創造）

楽しい仲間とやろう
（業界を代表する想いのあるお客様と共創）

3年以内にはビジネスとしての見通しを立てよう

気象・気候の変動によって、WNIへの期待・機会も増大

IoT, Big DATA, AI = 気象 × 顧客ニーズによって生まれる新しい価値



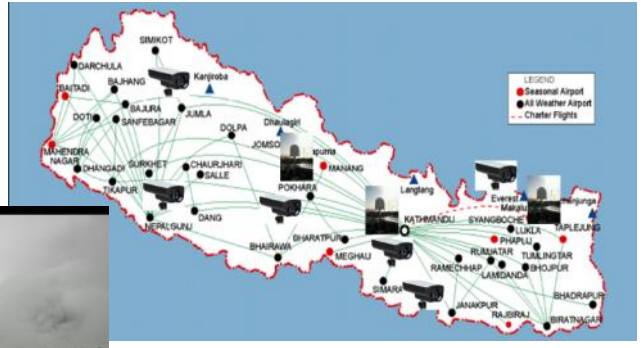
How Wonderfulから生まれたサービス

How Wonderful！

気象観測インフラが未整備で、気象のノウハウが弱い
ネパールでの航空機事故を無くしたい

無常識なアプローチ

受益者負担に基づく
気象観測網の整備（レーダー、カメラ）



WNI　：インフラ整備
政府　：観測場所・メンテナンス
航空会社：サービス利用・利用料

アジア新興国の気象リテラシーの向上に寄与

国土交通省生産性プロジェクト 気象ビジネス市場の創出

weathernews Always WITH you!

気象庁 Japan Meteorological Agency

○ IoTやAI等の技術の進展により、農業、小売業、運輸業をはじめとする幅広い産業において気象データを利用した生産性の飛躍的向上が見込まれるが、企業等においては気象データを高度に利用する取組は未だ低調。

○ 産業界と気象サービスのマッチングや気象データの高度利用を進める上での課題解決を行う「気象ビジネス推進コンソーシアム（仮称）」を立ち上げ、IoTやAI等の先端技術を活用した新たな気象ビジネスの創出・活性化を強力に推進。

現状・課題

・農業の生産管理等、気象データ活用の先進的事例が生まれつつあるが、活用する国内企業は少ない

・気象データは、先端技術や他データと組合わせた活用による生産性向上の潜在力はあるが、使われてない「ダークデータ」

課題1：産業界が求める気象サービス※1の提供

※1 気象データを活用したビジネス支援サービス

課題2：新たな気象ビジネス※2を実現する対話・連携

※2 IoT・AI技術を駆使し、気象データを高度利用した産業活動

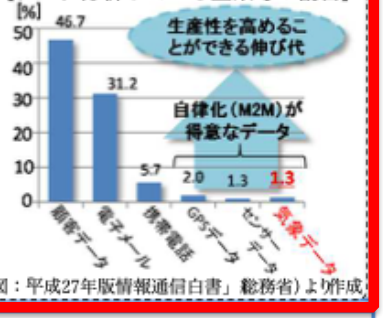
【気象ビジネスの具体例（米国）】

・米国海洋大気局（NOAA）のリアルタイム気象情報等を活用

・土壌モニタリングや農業機器の稼動情報等を組合わせ、生産管理等の高度な農業クラウドソリューションを提供

図 The Climate Corporation社ホームページより

【データ分析している企業等の割合】



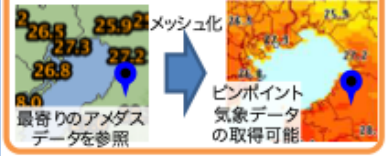
図：平成27年版情報通信白書」（総務省）より作成

具体的施策

気象サービス強化

①ユーザーコンシャスな気象情報の提供

新たな気象データの提供
過去データのアーカイブ整備
情報利用環境の高度化



②気象サービスの体質強化

気象サービスに必要なノウハウを全国的に展開

気象予報士の育成等によるソフトインフラ整備

気象ビジネス連携強化

③気象サービスと産業界のマッチング

気象ビジネス推進コンソーシアム（仮称）

先進的気象ビジネスモデルの創出　気象ビジネス推進の環境整備
気象ビジネスフォーラムの開催

気象庁

観測、予測データの提供等、気象ビジネスの基盤となる支援を推進

気象サービス

気象情報の仲介 加工

事業コンサルティング 気象特性を踏まえた事業体制構築の支援）

気象情報や先端技術を用いたシステム高度化

産業界

先端技術を活用した、気象リスクの管理や先手を打った収益追及

農業　小売　金融　運輸　製造　建設　エネルギー　サービス

2020年までにGDP押上効果として約2,000億円 注）を実現

注）農業における冷害被害回避、小売における適正在庫管理、気象事業者の売上増等による効果を試算

ウェザーニュースの取り組み

ウェザーニュースのモットー

ウェザーニュースの強み

価値創造のために必要な8S

Staff Merit

System Merit

Speed Merit

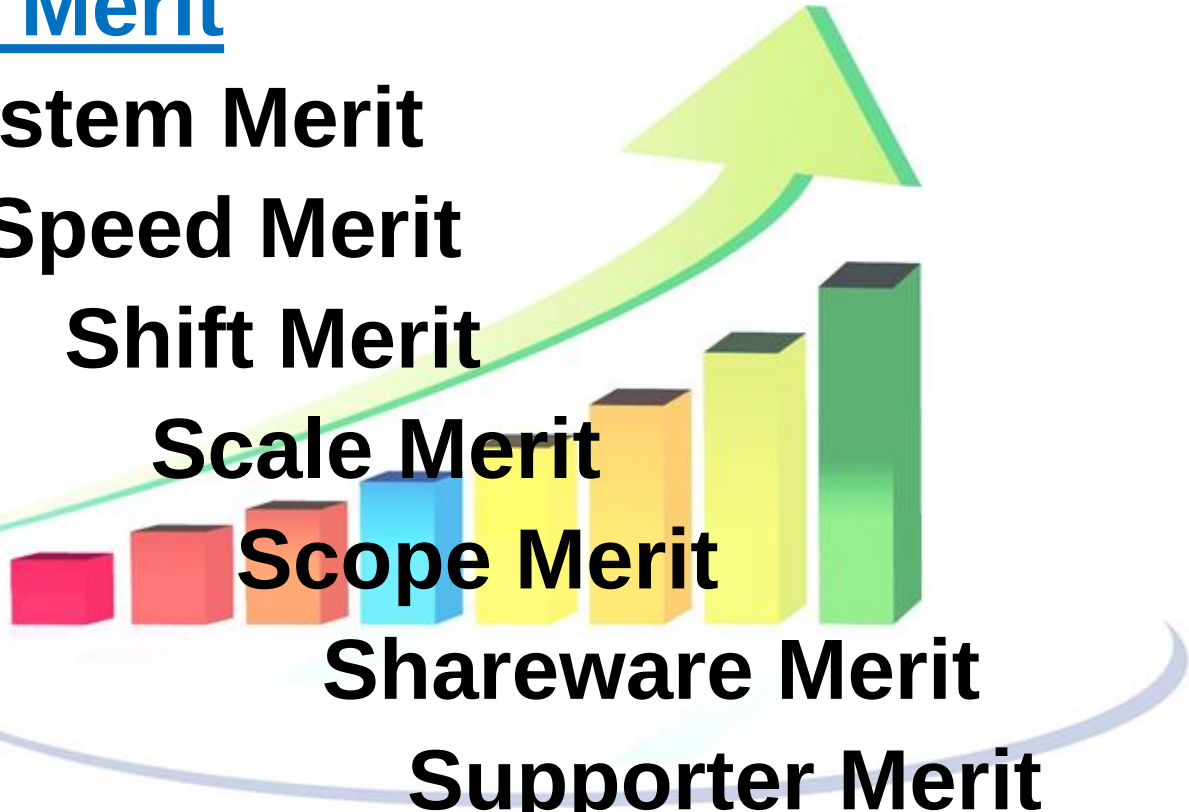
Shift Merit

Scale Merit

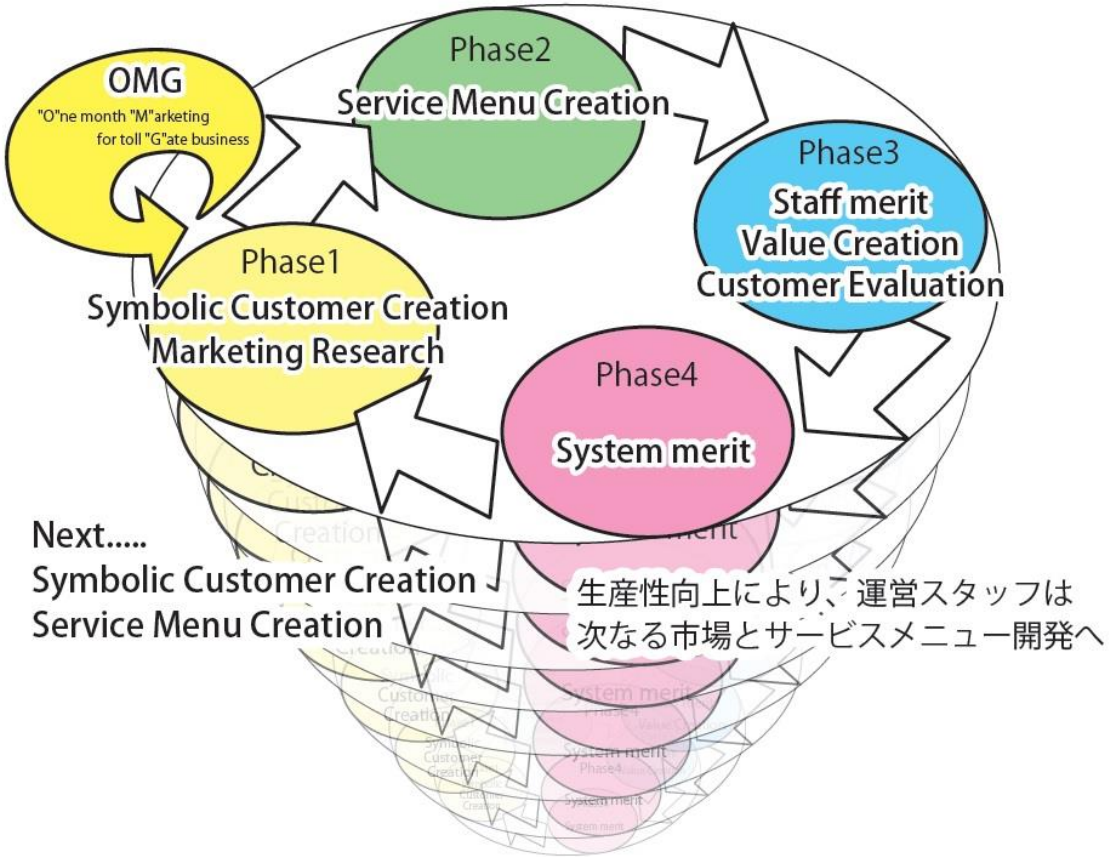
Scope Merit

Shareware Merit

Supporter Merit



Weathernews Service Design ～WNI の勝ちパターン～

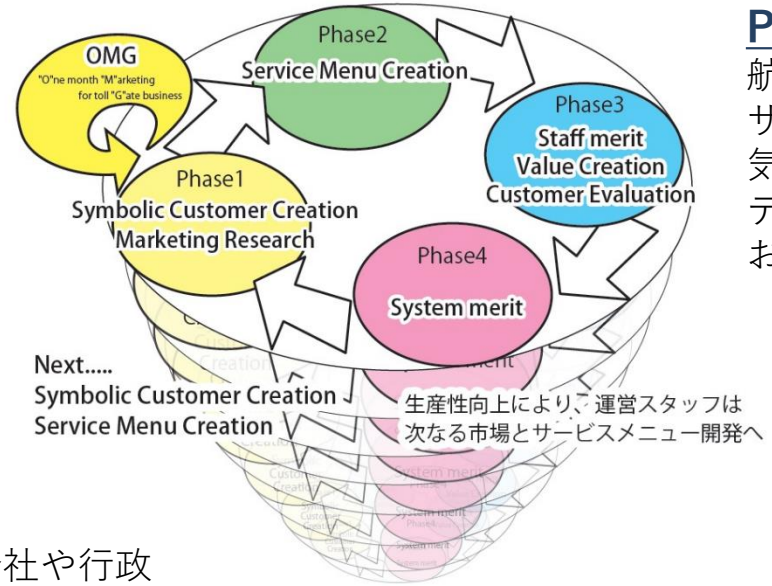


Weathernews Service Designの実例

Phase 1
ヘリ運航会社**“安全運航のため機体位置をモニタリングしたい”**
他社からも同様なニーズあることを確認

Phase 2
機体に搭載しても運航に影響が出ない独自インフラ「FOSTER-Copilot」を開発

Phase 3
航空局との交渉・承認
サービス価値を高める機体位置と気象情報の重ね合わせなどのコンテンツ作成
お客様の評価を確認



Phase 4
FOSTER-Copilotの量産
消防ヘリ、ドクターヘリへの展開

Next Phase 1
ドローンサービス会社や行政
ドローンとヘリが安全に飛行できるように、双方の位置情報を共有しませんか？

29カ国出身のスタッフが全世界のお客様を支援

Pit in Spot

社員同士の縦糸・横糸・ななめ糸作りのため、定期的に開催

- Pit in Yoga
- Pit in Flower Arrangement
- Pit in Tennis
- Pit in Japanese Danceなど

企業内保育園:レインキッズハウス

RAIN KIDS HOUSE
レインキッズハウス

社員専用の保育園(0～6歳)と
送迎付の学童スクール(7～12歳)

安心して働ける環境を整え
社員のキャリアプランを後押し

教育方針

当社スタッフによる天気の体験学習や
英会話教室なども取り入れながら、
Respectful(感謝の気持ち)、**A**dventurous(冒険心)
Independent(たくましさ)を養う

よく遊べ、たくさん遊べ、仲間と遊べ

ウェザーニューズ：社（やしろ）で会って楽しもう

人は遊ぶとき、

とにかく楽しんでいる
自分の意思で遊ぶ
冒険心を持っている
失敗をおそれない
自分を磨くことを覚える
新たな発見をする
知れば知るほど、やればやるほどおもしろくなり、
うまくなればなるほど、さらにおもしろくなる
良い仲間をみつける

人は良い仲間と遊ぶとき、

より大きな楽しみをみいだす
今までにない自分をみいだす
自分をさらけだせる
仲間を思う心が芽生える

人はさらに多くの仲間と遊ぶとき、

より大きな喜びをみいだす

weathernews
Always WITH you!